



# 横須賀・三浦放射線技師会報

Vol.39-No.2  
OCT.2015

No. 122

発行元 横須賀・三浦放射線技師会 広報 発行元住所 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16



Photo by T.Tsubokawa

## CONTENTS

巻頭言 . . . . .	2	福利厚生報告・新入会員紹介 . . . . .	6
H 2 7 年度庶務経過報告 . . . . .	3	旅行記 . . . . .	7
学術報告・地区委員報告 . . . . .	4	賛助会員ペンリレー・編集長のコーナー . . . . .	8
N A S チームからのお知らせ . . . . .	5		

## 🍁 巻頭言 🍁

副会長 松村 高宏



秋の風が気持ち良くなってきた今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？

会員の皆様は10月1日より施行となった医療事故調査制度というのを、ご存知でしょうか。この目的は、医療法の「第3章 医療の安全の確保」に位置づけられているとおり、医療の安全を確保するために、医療事故の再発防止を行うことにあります。

平成11年以降、重大な医療事故が連続して発生し社会問題となったことを契機に、医療安全の土台となる法令等が整備・拡充され、2014年6月には医療介護総合確保推進法案が成立し、医療法改正となりました。今年10月1日より医療事故調査制度の運用が開始されております。

さて、このことが我々の業務にどう関わってくるのか？少し考えてみましょう。まず、対象となるのが、「当該病院等に勤務する医療従事者が提供した医療に起因し、又は起因すると疑われる死亡又は死産であって、当該管理者が当該死亡又は死産を予期しなかったもの」とあります。普段我々は造影剤を使用する検査では、患者さんに検査説明を行い、同意を得て実施しています。同意書もカルテに残るようにしているはずなので、この対象にはならないとは思いますが、万が一の場合は院内調査を行い、その調査報告を民間の第三者機関（医療事故調査・支援センター）が収集・分析することとなりますので、万が一事故が発生した場合には、現場の保全を行い、記録や映像に残し、より詳細な要因分析や効果的な再発防止策の検討を我々診療放射線技師自身が行っていく方向にあると思っています。その後は、施設の管理者の判断というのが大きいとは思いますが。。。

我々技師も医療安全系の各種講習会等に参加し、この制度をしっかりと理解して業務に当たっていかねばならないと思います。頑張りましょう。



## 学術報告

第116回横須賀三浦放射線技師会研究会がH27年7月4日(土)横須賀共済病院5F講堂で行われました。開催プログラムは次の通りです。

1. 『遠隔画像診断サービスにおける診療放射線技師によるレポート確認』  
株式会社ドクターネット 山畑 飛鳥 氏
2. 『一般撮影における線量管理・ケアストリームの取り組み』  
ケアストリーム株式会社 岡 智樹 氏
3. 『最新 FPD システムと富士フィルム画像処理技術』  
富士フィルムメディカル株式会社 酒匂 俊平 氏
4. 『FPD 搭載デジタルブッキー撮影装置の使用経験』  
横須賀共済病院 中央放射線科 壺川 貴子 氏
5. 『新棟移転ともなうセミ DR 化～長尺 FPD の導入～』  
横浜南共済病院 放射線科 西條 美里 氏

参加人数 56名 (会員47名 賛助会員9名)と盛況でした。

今回はテーマが一般撮影系等ということで、バラエティに富んだプログラムになりました。とりわけ、FPD搭載の一般撮影装置に関しては、昨今のトレンドも相まって長尺撮影など運用に関しての質問がありました。また、遠隔画像診断サービスを主業務としている株式会社ドクターネット山畑氏からは、一般病院では経験しない貴重な業務経験をお話いただきました。

最新のトレンドや病院外での技師の活躍など貴重な経験を聴講できた研究会になったと思います。

ご参加頂いた皆様ありがとうございました。

第117回研究会をH27年11月28日(土)横須賀共済病院5F講堂で行われます。  
テーマを『各施設における Aquilion ONE』としています。

H27年度横須賀三浦・横浜南部地区合同勉強会をH28年2月20日(土)に横浜南共済病院で開催します。新棟の見学も含めたプログラム構成を予定しています。  
懇親会も用意しておりますので是非皆様ご参加よろしく願いいたします。

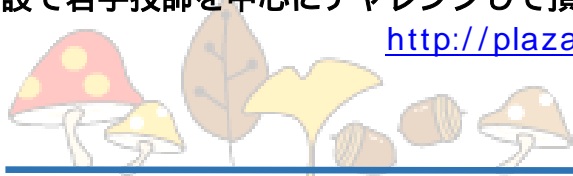
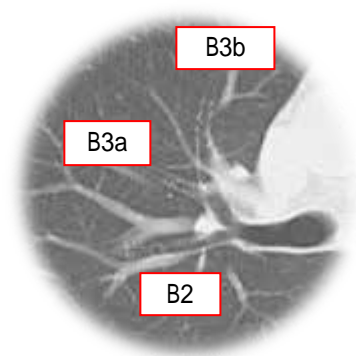
## 組織委員報告

< Challenge Note (組織委員会) Web 学習ツールの紹介 >

組織委員会で作成した、Challenge Note CT 気管支解剖の初級編をご紹介させていただきます。パラパラ漫画のような作りで、予想される肺野画像を覚えることで、CT 気管支解剖を理解することができます。組織委員会のサイトからすぐに利用できますので、各施設で若手技師を中心にチャレンジして頂きたいと思います。

<http://plaza.umin.ac.jp/soshiki/>

組織委員 早瀬 卓矢





## NAS チームからのお知らせ



### 第11回放射線災害時のスクリーニング作業の実際について（実践講習会）

主催 横須賀三浦原子力災害特別派遣チーム  
 神奈川県放射線管理士部会  
 （公社）神奈川県放射線技師会災害対策委員会

本年度も標記講習会を、横須賀三浦原子力災害特別派遣チーム、神奈川県放射線管理士部会、神奈川県放射線技師会災害対策委員会との共同開催にて、下記により開催致します。

東日本大震災から4年が経過し、日毎に震災の記憶等が薄れていく中、当時被災した福島では、派遣された診療放射線技師達が何を考え、どのような活動を行っていたのか?! JART サーベイヤー派遣隊の1次隊に参加された方々の講義を聴き、今一度、あの震災をテーマに講習会を開きたいと考えております。後半の実践演習では全国で標準化しつつあるセグメント法を短期習得出来るよう企画しております。

つきましては、ご多用な折恐縮ですが、多くの方のご参加をお願い申し上げます。

#### 記

日時：平成27年11月7日（土） 15:00～17:40

場所：横須賀共済病院5階講堂

参加費無料

受付開始：14:30

<http://www.ykh.gr.jp/access>

#### プログラム

1部：講演	司会 横須賀共済病院	濱田 順爾
福島第一原発事故での派遣活動	士別市立病院	宮本 直武
(15:00～15:40)		
不測の事態への対応（福島第一原発事故の派遣活動を経験して）		
(15:40～16:20)	川崎市立多摩病院	吉田 篤史

休憩（16:20～16:30）

2部：実践演習（16:30～17:40）	司会 横須賀市保健所	井上 晴行
サーベイメータの使用法&実践	NASチーム・横須賀市立うわまち病院	小林 輝雄
タイベックスーツの着用方法&実践	NASチーム・横須賀市立市民病院	林 駿志
セグメント法について&実践	NASチーム・横須賀市立市民病院	田島 尚人

以上

#### ご注意

上記のプログラムは変更されることがあります。横須賀三浦放射線技師会のホームページ上 (<http://ymart.jp/>)での記載が最新版となります。ご了承のほどお願い致します。

メールにて事前申し込み（JART No.、所属施設名、氏名、の記載を必須とさせていただきます）をお願い致します。申し込み先、問い合わせは、NASチーム mail: nas.hibaku001@ymart.jp 尚、講習会参加者には、JART 生涯教育カウントが付与される予定です。

## 🍁 福利厚生報告 🍁

平成 27 年 10 月 11 日、秋の企画として、キリンビール横浜工場見学を行いました。開催日の変更、三連休中の開催にも関わらず、27 名と多くの方に参加して頂きました。



工場見学では実際にキリン一番搾りが出来るまでの工程を見ることが出来ます。ホップの香りを嗅いでみたり、一番絞り麦汁と二番絞り麦汁の飲み比べをしたり、見るだけではなく体験すること

も出来るととても楽しい工場見学だったと思います。

昼間から飲むビールは格別です。工場見学後にはジンギスカンとビールを堪能しながら積もる話に花が咲き、時間を忘れてしまいそうでした。参加者の皆さま、ありがとうございました。

次回の行事は、12 月に行う毎年恒例のボーリング大会・忘年会です。開催日時、場所の詳細は後日お知らせ致します。

例年以上に楽しめる内容になるよう、福利厚生理事一同頑張りますので、たくさんの方の参加をお待ちしています。



## 🍁 新入会員紹介 🍁



今年 4 月から横須賀市立市民病院に入職しました佐藤将人と申します。

出身校は東京電子専門学校で出身地は横須賀です。

精神面、社会面、技術面と未熟な所が多いですが先輩方のように働けるよう尽力していきたいと思っております。また技師会の勉強会などでお会いする機会があると思っておりますので色々とお教えていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

# 旅行記

## 水を飲む年寄り

お達者ボウイズ

『年をとると自己過保護型になるか、自己過信型になるか、どちらかに傾きがちになります。別の言い方をすると、自分は劣ってもらって当然と思うか、自分はまだやれると思いつぎるかです。後者の例として、「私の体型は三十代と変わらないんですよ」などと自慢している老年がいます。若さを保ちたいという意欲はけっこうですが、体型は三十代と同じであっても、体内のほうは確実に変わっています。それを受け入れて、年相応の健康を目指すほうが自然じゃないでしょうか。つまり壮年、中年時代は、目もよく見え、耳もよく聞こえ、免疫力も高かったかもしれませんが、そうではなくなった今の自分を創出する。それが晩年の知恵だと思うのです。』



最近、めっきり本を買わなくなったC葉が、横須賀中央の本屋で曾野綾子さんの「人間の分際」を手にしてまがきを見たら、人間努力すれば報われるというが努力してもダメなことは多い、為せば成るというが必ずしもそんなことはない、とある。そうだよなと思いつい買ってしまったのです。おしまいのほうの216ページに《「年相応」の生き方をするのが晩年の知恵》という個所に上の文がありました。

貴重な紙面を本の一部を引用して埋めるのも、旅行は何から何までお膳立てされたツアーをチョイスするのも晩年の知恵。今の自分を創出できないでいる晩年の知恵者お達者ボウイズは、灼熱のカンボジアへ命知らずの旅へ出かけたのです。(この一節のために長々としたまがき～それも人様の～があったのです。にしても無理がある!?)



◆◆◆◆◆  
 だいたい長者K村先生の一言で決まることが多い。「アンコールワット行ったことがないんだよ。そこ以外も行ったことはないけど」その前にN倉先生の誘導発言もある。「アンコールワットもいいですよね」いつもの店で一杯やりながらアンコールワットへの旅が決まる。「足場が悪いところには手すりがあるんですけど錆びてるから軍手があるといいですよ」とC葉がいうと「じゃ、私が用意しておきます」とM井先生。しかし、C葉の情報は十数年前のもので役に立たず、軍手なんてほとんど必要はなかった。その後、N倉先生がツアーを手配してくれた。カンボジアはビザがいるのでその手続きも怠りなくして出発の日を待つ。服用中の薬も忘れないようにしなきゃ。横須賀三浦放射線技師会会長者4人は、つかず離れずの間柄で仲が良く、時々一緒に旅してその地の酒を飲み、今の自分を創出しようと日々努力している。

さて、5月27日出発当日。いつものように電車の打ち合わせもしっかりしていた。成田なのでJRグリーンで旅の無事を祈って一杯やることになっている。が、アクシデント発生。緊急連絡網で京急が事故でストップしているとの連絡。なんてこった。三崎口駅からのK村先生が久里浜までたどり着けるかどうか。津久井浜駅で電車動かないとの連絡に、やむなくN倉先生はK村先生を待たずJR乗車。C葉、M井先生も合流、横浜からの成田エクスプレスを捕まえる。K村先生は電車に慣れてく不安で一杯だろうと勝手に思い込む三人は、ケータイ通話やらメールでいろいろ心配し励ます一方で、K村先生の分まで缶ビールとかワンカップとかを空ける。余計なお世話だ。ほどなく三人の乗った一本後の成田エクスプレスに乗車したとの連絡。よかったヨカタ。お達者ボウイズはいつも時間に余裕をもって行動するので、結果としては余裕で成田空港第一ビル駅に降り立つことができた。少しのアクシデントに動揺しても長い人生の経験から立ち直りは早い。自己過信型の老年か?



仁川空港で乗り換えカンボジアシェムリアップ空港へ。タラップを降り徒歩で空港ビルへ向かう。陽はとっくに落ちて雨が降り。だいぶ開発されたとはいえカンボジア国土のジャングルの占める割合は高いらしい。かなりの湿気だ。ツアーは我等4人だけ。現地ガイドとドライバーにピックアップしてもらい20分ほどでホテル。明日からの遺跡群観光に備え早めに就寝する事に。

いよいよアンコール遺跡群観光。その圧倒的なスケールに言葉がない。アンコールワットを目の前に高揚感MAX。そして歩く。さらに歩く。壮大な広さにゴルフ場のようなカートはない。暑い。体中の汗腺フル回転。生命の危機。水!みず!持参のペットボトルの水を飲むお達者ボウイズ。脱水症の予習はしっかりしている。帰

道、片側の車道を封鎖しテーブルと椅子を並べ結婚式の準備をしていた。

シェムリアップは世界で最も影響力があるとされる米大手旅行雑誌「トラベル+レジャー」が発表した2015年の世界の人気観光都市ランキング第三位。決して裕福とは言えないようだが、人々の熱気がすごい。上昇志向のパワーを感じる。ホテルの朝食でオムレツを焼いてくれた小柄な婦人の笑顔が素敵。郊外で見かける白い牛はみなガリガリに痩せていた。小学校は午前と午後の二部制。C葉が以前訪れた時は学用品をプレゼントして喜ばれたが、今は事情が変わっているんだろう。車窓から元気な子供たちの声がした。

オプションで夜の繁華街を散策。派手な電飾に行き交う人とトゥクトゥク。ビルの三階で隣国ベトナム人によるライブの大音響。冷えたアンコールビールが、うまい! 街外れの屋台で大きな黒い蜘蛛のから揚げが整然と並んで売られていた。

◆◆◆◆◆  
 なんだかんだと理屈をつけちゃあいつもの店で一杯やるお達者ボウイズ。年相応の生き方をしようと晩年の知恵で次の行動作戦を練る。「体の負担の軽い台北はどう?」「北海道もいいよな」「ソウルで本場のキムチを食べよう」必死で水を飲む老年の旅は、もういい。



## 🍁 賛助会員ペンリレー 🍁

堀井薬品工業株式会社 八木崇

いつも大変お世話になっております。今回は私の趣味である野球観戦について紹介させていただきます。

私は出身が大阪ということもあり阪神タイガースファンと思われるのですが、球団創設時からの東北楽天ゴールデンイーグルスのファンです。なぜ東北の球団のファン？と思われるかもしれませんが、もともと私は大阪近鉄バファローズのファンでした。しかし 2004 年に球団が合併し、応援していた球団がなくなりました。その時にイーグルスが誕生し、そこに近鉄の選手が多く在籍するようになってからイーグルスのファンになったという経緯があります。社会人一年目に仙台に配属になり、イーグルスの本拠地である現在の楽天 kobo スタジアム宮城で観戦したときは感動しました。

そして現在神奈川県在住の私は横浜 DeNA ベイスターズにどっぷりはまっております！スタイリッシュでイキイキとした若手選手が多く、プレーひとつひとつに魅力があります。また大量得点差で負けていても「何か奇跡を起こしてくれるのではないか？」という雰囲気がある数少ないチームです。これは私が以前応援していた近鉄の「いてまえ魂」(倍返しニュアンスです)に共通しており、これからも応援したくなる球団です。

そんなベイスターズとイーグルスのファンである私は先日、横須賀スタジアムに二軍戦を観戦に行きました。土曜日ということもあってか二軍戦にしては観客が多く三塁側スタンドから観戦。投手は両先発ともに期待の若手である、石田・森の投げ合い。ベイスターズは初回にエラーと四球でチャンスを作ると赤堀、霧岡のタームリーで先制。投げては先発、石田がキレのある速球でイーグルスを抑え 4 - 1 でベイスターズ勝利！二軍戦は一軍戦と違い観客と選手の距離が近く、またボールがミットに収まる音・打球音がはっきり聞こえるのも醍醐味です。

今季のベイスターズは途中まで優勝争いに加わりながら、最下位に終わりました。来季は今年以上に期待を抱いて応援したいと考えております！



## 🍁 編集長のコーナー 🍁

先日木枯らし1号が吹き、体感的にもいよいよ冬への準備が始まったように感じます。このままあっという間に年末になってしまいそうで若干の焦りを覚えるのは私だけでしょうか。

10月半ば高松に行ってきました。高松港からフェリーに1時間ほど乗船し、瀬戸内海上に浮かぶ直島へと足を伸ばしました。直島は島の至る所にアートがあることで最近話題になっている小さな島です。中でも最も有名なのが今回の広報誌の表紙にもしました草間彌生さんの作品『南瓜』です。決して八口ウィンだからといってカボチャを載せたわけではないのです。

私は芸術の秋より食欲の秋派なので、何かでこの黄色い水玉模様の南瓜を初めて見た時には「ブツブツが気持ち悪いな・・・」と覚えてしまいましたが、実物を見ると、異質なはずなのに直島の自然に溶け込んでいるという何だか不思議で魅力的な作品でした。今回は時間が足りず島内全ては周れませんでしたので、ぜひ再訪したいと思います。アートに興味のあるかた、ない

けどのんびりまったりしたい方にはおすすめです。機会があればぜひ行ってみてください。ちなみに港では真っ赤な水玉模様の南瓜が皆さんを出迎えてくれますよ。(壺川)



NO.122Vol.39-No.2 OCT.2015 横須賀三浦放射線技師会報

2015年10月30日発行 編集/発行/印刷/製本 広報部  
 広報担当 久保隆(三浦市立病院)、齋藤正樹(よこすか浦賀病院)、  
 壺川貴子(横須賀共済病院)